

電気料金メニュー約款
(TERASELでんき 九州エリア)

取次事業者：株式会社エネクスライフサービス

小売電気事業者：九州電力株式会社



伊藤忠エネクスグループ

株式会社エネクスライフサービス

目次

第1条 適用	1
第2条 定義	1
第3条 料金メニュー約款の変更.....	1
第4条 契約種別	1
1. TERASEL九州B・超TERASEL九州B.....	1
(1) 適用条件	1
(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数.....	1
(3) 契約電流	1
(4) 電気料金.....	2
2. TERASELでんき九州C・超TERASEL九州C.....	2
(1) 適用条件	2
(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数.....	2
(3) 契約容量	2
(4) 電気料金	3
3. TERASEL九州低圧電力.....	3
(1) 適用条件	3
(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数.....	3
(3)契約電力.....	3
(4) 電気料金.....	4
(5) その他	4
附 則	5
別紙1 負荷設備の入力換算容量.....	6
別紙2 料金メニュー表	1
九州エリア	1

第1条 適用

この電気料金メニュー約款（以下「料金メニュー約款」といいます。）は、当社の電気需給約款（以下「本約款」といいます。）にもとづき、当社が九州電力株式会社が提供する電力の供給サービスを、電灯または小型機器もしくは動力をご使用のお客さまで九州電力送配電株式会社の供給エリアへ取り次ぐときの料金その他の条件を定めたものです。なお、料金メニュー約款に定める基本料金、電力量料金、最低月額料金、燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金、請求書発送費用は、消費税および地方消費税相当額を含みます。料金メニュー約款に定めのない事項に関しては、本約款の定めを準用いたします。

第2条 定義

以下の用語は、料金メニュー約款において、それぞれ以下の意味で使用し、その他の用語については、本約款に規定するところによります。

1. 夏季
毎年7月1日から9月30日までの期間をいいます。
2. その他季
毎年10月1日から翌年の6月30日までの期間をいいます。

第3条 料金メニュー約款の変更

1. 当社は、料金メニュー約款を変更する場合には、本約款第3条（電気需給約款等の変更）を適用します。この場合、本約款第3条（電気需給約款等の変更）において、「本約款」を「料金メニュー約款」と読み替えて適用します。
2. 消費税法および地方消費税法の改正等により、消費税および地方消費税の税率が変更された場合には、当社は、変更された税率にもとづき、料金メニュー約款に定める電気料金を変更いたします。この場合、契約期間中であっても、電気料金は、変更後の料金メニュー約款によります。

第4条 契約種別

1. TERASEL九州B・超TERASEL九州B

(1) 適用条件

電灯または小型機器を使用する需要であるものに適用し、契約電流が20アンペア以上であり、かつ、60アンペア以下であるものに適用いたします。なお、その場合の適用日は、需給開始日または当社がお客さまからの申出を承諾した日の直後の検針日もしくは当社があらかじめお客さまに計量日をお知らせしている場合には計量日といたします。

(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。また、周波数は、以下のとおりといたします。

九州エリア	標準周波数 60 ヘルツ
-------	--------------

(3) 契約電流

- (a) 契約電流は、20アンペア、30アンペア、40アンペア、50アンペアまたは60アンペアのいずれかとし、お客さまの申出によって定めます。
- (b) 一般送配電事業者は、契約電流に応じて電流制限器その他の適当な装置（以下「電流制限器等」といいます。）または電流を制限する計量器を取り付けます。ただし、お客さまにおいて使用する最大電流が制限される装置が取り付けられている場合等、使用する最大電流が契約電流をこえるおそれがないと認められる場合には、一般送配電事業者は、電流制限器等または電流を制限する計量器を取り付けないことがあります。
- (c) 電気の使用実態に応じ、(a)または(b)で定めた契約電流が不相当と当社が認める場合においては、当社はその理由を通知の上、お客さまと協議により、契約電流の変更を

することができるものとします。

(4) 電気料金

1月の料金は、別紙2(料金メニュー表)に定める基本料金、電力量料金および本約款別紙3(再生可能エネルギー発電促進賦課金)4.によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。ただし、電力量料金は、本約款別紙4(燃料費調整)1.(1)によって算定された平均燃料価格が本約款別紙4(燃料費調整)別表(燃料費調整単価算出係数等)に記載のお客さまの需要場所を供給区域とする一般送配電事業者ごとに定めるX円(以下単に「X円」といいます。)を下回る場合は、本約款別紙4(燃料費調整)3.によって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、本約款別紙4(燃料費調整)1.(1)によって算定された平均燃料価格がX円を上回る場合は、本約款別紙4(燃料費調整)3.によって算定された燃料費調整額を加えたものとします。

(a) 基本料金

基本料金は、本約款第13条(料金の算定および算定期間)に定める算定期間1月につき別紙2(料金メニュー表)のとおりといたします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額といたします。

(b) 電力量料金

電力量料金は、別紙2(料金メニュー表)によるその1月の使用電力量によって算定いたします。

(C) 最低月額料金

(a)および(b)によって算定された基本料金と電力量料金との合計が別紙2(料金メニュー表)の最低月額料金を下回る場合は、そのひと1月の料金は、別紙2(料金メニュー表)の最低月額料金および本約款別紙3(再生可能エネルギー発電促進賦課金)4.によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。

2. TERASELでんき九州C・超TERASEL九州C

(1) 適用条件

電灯または小型機器を使用する需要で、契約容量が6キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として50キロボルトアンペア未満であるものに適用します。

(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。また、周波数は、以下のとおりといたします。

九州エリア	標準周波数 60 ヘルツ
-------	--------------

(3) 契約容量

契約容量は、契約主開閉器の定格電流にもとづき、以下により算定された値とします。この場合、あらかじめ契約主開閉器を設定します。ただし、他の小売電気事業者から当社へ契約を切り替える場合は、原則として、他の小売電気事業者との契約終了時点の契約容量の値を引き継ぐものとします。

(a) 供給電気方式および供給電圧が交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトの場合

契約主開閉器の定格電流(アンペア)×電圧(ボルト)×1/1,000

なお、交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトの場合の電圧は、200ボルトとします。

(b) 供給電気方式および供給電圧が交流3相3線式標準電圧200ボルトの場合

契約主開閉器の定格電流(アンペア)×電圧(ボルト)×1.732×1/1,000

(4) 電気料金

1月の料金は、別紙2（料金メニュー表）以下に定める基本料金、電力量料金および本約款別紙3（再生可能エネルギー発電促進賦課金）4.によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。ただし、電力量料金は、本約款別紙4（燃料費調整）1.(1)によって算定された平均燃料価格がX円を下回る場合は、本約款別紙4（燃料費調整）3.によって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、本約款別紙4（燃料費調整）1.(1)によって算定された平均燃料価格がX円を上回る場合は、本約款別紙4（燃料費調整）3.によって算定された燃料費調整額を加えたものとします。

(a) 基本料金

基本料金は、本約款第13条（料金の算定および算定期間）に定める算定期間1月につき別紙2（料金メニュー表）のとおりといたします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額といたします。

(b) 電力量料金

電力量料金は、別紙2（料金メニュー表）によるその1月の使用電力量によって算定いたします。

3. TERASEL九州低圧電力

(1) 適用条件

動力を使用する需要で、次のいずれにも該当するものに適用いたします。

(a) 契約電力が原則として50キロワット未満であること。

(b) 1 需要場所において当社の電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのプランとあわせて契約する場合は、契約電流（この場合、10アンペアを1キロワットとみなします。）または契約容量（この場合、1キロボルトアンペアを1キロワットとみなします。）と契約電力との合計が50キロワット未満であること。[ただし、1 需要場所において当社の電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのプランとあわせて契約する場合は、お客さまが希望され、かつ、一般送配電事業者が適当と認めたときは、(a)に該当し、かつ、(b)の契約電流または契約容量と契約電力との合計が50キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、一般送配電事業者は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。]

(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流3相3線式標準電圧200ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトとすることがあります。また、周波数は、以下のとおりといたします。

九州エリア	標準周波数 60 ヘルツ
-------	--------------

(3) 契約電力

(a) 契約電力は、契約負荷設備の各入力（出力で表示されている場合等は、別紙1（負荷設備の入力換算容量）によって換算するものとします。）についてそれぞれ次の(イ)の係数を乗じてえた値の合計に(ロ)の係数を乗じてえた値とします。[ただし、電気機器の試験用に電気を使用される場合等特別の事情がある場合は、その回路において使用される最大電流を制限できるしゃ断器その他の適当な装置をお客さまに施設していただき、その容量を当該回路において使用される契約負荷設備の入力とみなします。この場合、その容量は下記(b)に準じて算定し、(ロ)の係数を乗じないものといたします。]

(イ) 契約負荷設備のうち

最大の入力 のものから	最初の2台の入力につき	100パーセント
	次の2台の入力につき	95パーセント
	上記以外のもの入力につき	90パーセント

(ロ) (イ)によってえた値の合計のうち

最初の6キロワットにつき	100パーセント
--------------	----------

次の 14 キロワットにつき	90 パーセント
次の 30 キロワットにつき	80 パーセント
50 キロワットをこえる部分につき	70 パーセント

- (b) お客さまが契約主開閉器により契約電力を定めることを希望される場合には、契約電力は、契約主開閉器の定格電流にもとづき、以下により算定された値とします。この場合、あらかじめ契約主開閉器を設定します。なお、一般送配電事業者は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認いたします。

(イ) 供給電気方式および供給電圧が交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合

$$\text{契約主開閉器の定格電流 (アンペア)} \times \text{電圧 (ボルト)} \times 1/1,000$$
 なお、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合の電圧は、200 ボルトとします。

(ロ) 供給電気方式および供給電圧が交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトの場合

$$\text{契約主開閉器の定格電流 (アンペア)} \times \text{電圧 (ボルト)} \times 1.732 \times 1/1,000$$

(4) 電気料金

1 月の料金は、別紙 2 (料金メニュー表) に定める基本料金、電力量料金および本約款別紙 3 (再生可能エネルギー発電促進賦課金) 4.によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。ただし、電力量料金は、本約款別紙 4 (燃料費調整) 1.(1) によって算定された平均燃料価格が X 円を下回る場合は、本約款別紙 4 (燃料費調整) 3.によって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、本約款別紙 4 (燃料費調整) 1.(1) によって算定された平均燃料価格が X 円を上回る場合は、本約款別紙 4 (燃料費調整) 3.によって算定された燃料費調整額を加えたものとします。

(a) 基本料金

基本料金は、本約款第 13 条 (料金の算定および算定期間) に定める算定期間 1 月につき別紙 2 (料金メニュー表) のとおりといたします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額といたします。

(b) 電力量料金

電力量料金は、その 1 月の使用電力量によって算定することとし、夏季に使用された電力量には夏季料金を、その他季に使用された電力量にはその他季料金をそれぞれ適用いたします。この場合、夏季とは、第 2 条 1 に記載の期間とし、その他季とは、第 2 条 2.に記載の期間とする。なお、その 1 月に夏季およびその他季がともに含まれる場合には、その 1 月の使用電力量をその 1 月に含まれる夏季およびその他季の日数の比であん分してえた値をそれぞれの使用電力量といたします。ただし、計量値を確認する場合には、その値によります。

(c) その他

時報用または警報用のみに使用する場合は、基本料金のみといたします。この場合の力率は、85 パーセントとみなします。

(5) その他

- (a) お客さまは、変圧器または発電設備等を介して、電灯または小型機器を使用することはできません。
- (b) お客さまが、需要場所における主開閉、負荷設備または受電設備を変更される場合は、当社に、あらかじめ申し出ていただきます。

附 則

この料金メニュー約款の実施時期

この料金メニュー約款は、2024年4月1日より実施します。

約款改定・改訂履歴

2020年	4月1日	制定
2021年	7月1日	改定
2022年	6月1日	改定
2023年	4月1日	改定
2024年	4月1日	改定

別紙1 負荷設備の入力換算容量

1. 照明用電気機器

照明用電気機器の換算容量は、次の(1)、(2)、(3)および(4)によります。

(1) けい光灯

	換 算 容 量	
	入力 (ボルトアンペア)	入力 (ワット)
高力率型	管灯の定格消費電力 (ワット) ×150パーセント	管灯の定格消費電力 (ワット)) ×125パーセント
低力率型	管灯の定格消費電力 (ワット) ×200パーセント	

(2) ネオン管灯

2次電圧 (ボルト)	換 算 容 量		
	入力 (ボルトアンペア)		入力 (ワット)
	高力率型	低力率型	
3,000	30	80	30
6,000	60	150	60
9,000	100	220	100
12,000	140	300	140
15,000	180	350	180

(3) スリムラインランプ

管の長さ (ミリメートル)	換 算 容 量	
	入力 (ボルトアンペア)	入力 (ワット)
999 以下	40	40
1,149 以下	60	60
1,556 以下	70	70
1,759 以下	80	80
2,368 以下	100	100

(4) 水 銀 灯

出力 (ワット)	換 算 容 量		
	入力 (ボルトアンペア)		入力 (ワット)
	高力率型	低力率型	
40 以下	60	130	50
60 以下	80	170	70
80 以下	100	190	90
100 以下	150	200	130
125 以下	160	290	145
200 以下	250	400	230
250 以下	300	500	270
300 以下	350	550	325
400 以下	500	750	435
700 以下	800	1,200	735
1,000 以下	1,200	1,750	1,005

2. 誘導電動機

(1) 単相誘導電動機

- a 出力が馬力表示の単相誘導電動機の換算容量（入力〔キロワット〕）は、換算率100.0パーセントを乗じたものといたします。
- b 出力がワット表示のものは、次のとおりといたします。

出力 (ワット)	換 算 容 量		
	入力 (ボルトアンペア)		入力 (ワット)
	高力率型	低力率型	
35 以下	—	160	出力 (ワット) ×133.0パーセント
45 以下	—	180	
65 以下	—	230	
100 以下	250	350	
200 以下	400	550	
400 以下	600	850	
550 以下	900	1,200	
750 以下	1,000	1,400	

(2) 3相誘導電動機

換 算 容 量 (入力〔キロワット〕)		
出力 (馬力)	×	93.3パーセント
出力 (キロワット)	×	125.0パーセント

3.レントゲン装置

レントゲン装置の換算容量は、次によります。

なお、レントゲン装置が2以上の装置種別を兼ねる場合は、いずれか大きい換算容量といたします。

装置種別(携帯型および移動型を含みます。)	最高定格管電圧 (キロボルトピーク)	管電流 (短時間定格電流) (ミリアンペア)	換算容量(入力) (キロボルトアンペア)
治療用装置			定格1次最大入力 (キロボルトアンペア)の値といたします。
診察用装置	95キロボルトピーク 以下	20ミリアンペア以下	1
		20ミリアンペア超過 30ミリアンペア以下	1.5
		30ミリアンペア超過 50ミリアンペア以下	2
		50ミリアンペア超過 100ミリアンペア以下	3
		100ミリアンペア超過 200ミリアンペア以下	4
		200ミリアンペア超過 300ミリアンペア以下	5
		300ミリアンペア超過 500ミリアンペア以下	7.5
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	10
	95キロボルトピーク 超過 100キロボルトピーク 以下	200ミリアンペア以下	5
		200ミリアンペア超過 300ミリアンペア以下	6
		300ミリアンペア超過 500ミリアンペア以下	8
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	13.5
	100キロボルトピーク 超過 125キロボルトピーク 以下	500ミリアンペア以下	9.5
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	16
	125キロボルトピーク 超過 150キロボルトピーク 以下	500ミリアンペア以下	11
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	19.5
蓄電器放電式診察用装置	コンデンサ容量	0.75 マイクロファラッド以下	1
	0.75マイクロファラッド超過	1.5 マイクロファラッド以下	2
	15 マイクロファラッド超過	3 マイクロファラッド以下	3

4.電気溶接機

電気溶接機の換算容量は、次の算式によって算定された値といたします。

- (1)日本工業規格に適合した機器（コンデンサ内蔵型を除きます）の場合
入力（キロワット）≒最大定格1次入力（キロボルトアンペア）
×70パーセント
- (2)(1)以外の場合
入力（キロワット）≒実測した1次入力（キロボルトアンペア）
×70パーセント

5.その他

- (1)1.2.3.および4.によることが不相当と認められる電気機器の換算容量（入力）は、実測した値を基準としてお客さまと当社との協議によって定めます。ただし、特別の事情がある場合は、定格消費電力を換算容量（入力）とすることがあります。
- (2)動力と一体をなし、かつ、動力を使用するために直接必要であって欠くことができない表示灯は、動力とあわせて1契約負荷設備として契約負荷設備の容量（入力）を算定いたします。
- (3)予備設備であることが明らかな電気機器については、契約負荷設備の容量の算定の対象といたしません。

別紙2 料金メニュー表

九州エリア

(1) TERASEL九州B / 超TERASEL九州B

区分		TERASEL 九州B	超TERASEL 九州B
基本料金	契約電流 20A	602.78 円	632.48 円
	契約電流 30A	904.17 円	948.72 円
	契約電流 40A	1,205.56 円	1,264.96 円
	契約電流 50A	1,506.95 円	1,581.20 円
	契約電流 60A	1,808.34 円	1,897.44 円
電力量料金 (1kWhにつき)	最初の120kWhまで	17.49 円	18.19 円
	120kWhをこえ300kWhまで	22.81 円	22.96 円
	300kWh超過	25.66 円	24.38 円
最低料金		334.26 円	334.26 円

(2) TERASEL九州C / 超TERASEL九州C

区分		TERASEL 九州C	超TERASEL 九州C
基本料金	契約容量 1kVAにつき	298.42 円	316.24 円
電力量料金 (1kWhにつき)	最初の120kWhまで	17.32 円	18.19 円
	120kWhをこえ300kWhまで	22.58 円	22.96 円
	300kWh超過	25.40 円	24.38 円

(3) TERASEL九州低圧電力

区分			TERASEL 九州低圧電力
基本料金	契約電力 1キロワットにつき		972.63 円
電力量料金 (1kWhにつき)	夏季 料金	契約電力×120kWhまで	16.54 円
		上記超過 1kWhにつき	26.10 円
	その他季 料金	契約電力×120kWhまで	14.93 円
		上記超過 1kWhにつき	23.57 円

電気料金メニュー約款
(TERASELでんき)

超TERASEL再エネプラン



伊藤忠エネクスグループ

株式会社エネクスライフサービス

目次

第1条 適用	1
第2条 定義	1
第3条 料金メニュー約款の変更	1
第4条 契約種別	1
1. 超TERASEL（北海道再エネB、東北再エネB、東京再エネB、中部再エネB、北陸再エネB、九州再エネB）	1
(1) 適用条件	1
(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数	1
(3) 契約電流	1
(4) 電気料金	2
2. 超TERASEL（北海道再エネB、東北再エネB、東京再エネB、中部再エネB、北陸再エネB、九州再エネB）	2
(1) 適用条件	2
(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数	2
(3) 契約容量	2
(4) 電気料金	3
3. 超TERASEL（関西再エネA / 中国再エネA / 四国再エネA）	3
(1) 適用条件	3
(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数	3
(3) 最大需要容量	3
(4) 電気料金	3
2. 超TERASEL（関西再エネB / 中国再エネB / 四国再エネC）	3
(1) 適用条件	3
(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数	4
(3) 契約容量	4
(4) 電気料金	4
第5条 電源構成に係る注記	4
附 則	5
別紙1 負荷設備の入力換算容量	6
別紙2 料金メニュー表	10
1.北海道エリア	10
2.東北エリア	10
3.東京エリア	11
4.中部エリア	11
5.北陸エリア	12
6.関西エリア	12
7.中国エリア	12
8.四国エリア	13
9.九州エリア	13

第1条 適用

この電気料金メニュー約款（以下「料金メニュー約款」といいます。）は、当社の電気需給約款（以下「本約款」といいます。）にもとづき、電灯または小型機器もしくは動力をご使用のお客さまで一般配送電事業者の供給エリアへ電気を供給するときの料金その他の条件を定めたものです。なお、料金メニュー約款に定める基本料金、最低料金、最低月額料金、電力量料金、燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金、請求書発送費用は、消費税および地方消費税相当額を含みます。料金メニュー約款に定めのない事項に関しては、本約款の定めを準用いたします。

第2条 定義

以下の用語は、料金メニュー約款において、それぞれ以下の意味で使用し、その他の用語については、本約款に規定するところによります。

1. FIT 電源

再生可能エネルギーの固定買取制度の認定を受けた発電設備をいいます。

2. 非化石証書

非化石電源により発電された電気から、環境価値を分離し証書にしたものをいいます。

3. 卸電力取引所

日本卸電力取引所が運営する電力の現物取引、先渡し取引などを仲介する市場をいいます。

第3条 料金メニュー約款の変更

1. 当社は、料金メニュー約款を変更する場合には、本約款第3条（電気需給約款の変更）を適用します。この場合、本約款第3条（電気需給約款の変更）において、「本約款」を「料金メニュー約款」と読み替えて適用します。
2. 消費税法および地方消費税法の改正等により、消費税および地方消費税の税率が変更された場合には、当社は、変更された税率にもとづき、料金メニュー約款に定める電気料金を変更いたします。この場合、契約期間中であっても、電気料金は、変更後の料金メニュー約款によります。

第4条 契約種別

1. 超TERASEL（北海道再エネB、東北再エネB、東京再エネB、中部再エネB、北陸再エネB、九州再エネB）

(1) 適用条件

電灯または小型機器を使用する需要であるものに適用し、契約電流が20アンペア以上であり、かつ、60アンペア以下であるものに適用いたします。なお、その場合の適用日は、需給開始日または当社がお客さまからの申出を承諾した日の直後の検針日もしくは当社があらかじめお客さまに計量日をお知らせしている場合には計量日といたします。

(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。また、周波数は、以下のとおりといたします。

北海道、東北、東京エリア	標準周波数 50 ヘルツ (新潟県佐渡市、妙高市および糸魚川市 ならびに群馬県の一部は60ヘルツ)
中部、北陸、九州エリア	標準周波数 60 ヘルツ (長野県の一部は50ヘルツ)

(3) 契約電流

契約電流は、20アンペア、30アンペア、40アンペア、50アンペアまたは60アンペアのいずれかとし、お客さまの申出によって定めます。

(4) 電気料金

1月の料金は、別紙2（料金メニュー表）に定める基本料金、電力量料金および本約款別紙3（再生可能エネルギー発電促進賦課金）4.によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。ただし、電力量料金は、本約款別紙4（燃料費調整）1.(1)によって算定された平均燃料価格が本約款別紙4（燃料費調整）別表（燃料費調整単価算出係数等）に記載のお客さまの需要場所を供給区域とする一般送配電事業者ごとに定めるX円（以下単に「X円」といいます。）を下回る場合は、本約款別紙4（燃料費調整）3.によって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、本約款別紙4（燃料費調整）1.(1)によって算定された平均燃料価格がX円を上回る場合は、本約款別紙4（燃料費調整）3.によって算定された燃料費調整額を加えたものとします。

(a) 基本料金

基本料金は、本約款第13条（料金の算定および算定期間）に定める算定期間1月につき別紙2（料金メニュー表）のとおりといたします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額といたします。

(b) 電力量料金

電力量料金は、その1月の使用電力量によって別紙2（料金メニュー表）にもとづき算定いたします。

(c) 最低月額料金

(a)および(b)によって算定された基本料金と電力量料金との合計が次の最低月額料金を下回る場合は、そのひと1月の料金は、次の最低月額料金および本約款別紙3（再生可能エネルギー発電促進賦課金）4.によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。

2. 超TERASEL（北海道再エネB、東北再エネB、東京再エネB、中部再エネB、北陸再エネB、九州再エネB）

(1) 適用条件

電灯または小型機器を使用する需要で、契約容量が6キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として50キロボルトアンペア未満であるものに適用します。

(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。また、周波数は、以下のとおりといたします。

北海道、東北、東京エリア	標準周波数 50 ヘルツ (新潟県佐渡市、妙高市および糸魚川市ならびに群馬県の一部は60ヘルツ)
中部、北陸、九州エリア	標準周波数 60 ヘルツ (長野県の一部は50ヘルツ)

(3) 契約容量

契約容量は、契約主開閉器の定格電流にもとづき、別紙2（料金メニュー表）により算定された値とします。この場合、あらかじめ契約主開閉器を設定します。ただし、他の小売電気事業者から当社へ契約を切り替える場合は、原則として、他の小売電気事業者との契約終了時点の契約容量の値を引き継ぐものとします。

(a) 供給電気方式および供給電圧が交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトの場合

契約主開閉器の定格電流（アンペア）×電圧（ボルト）×1/1,000

なお、交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトの場合の電圧は、200ボルトとします。

(b) 供給電気方式および供給電圧が交流3相3線式標準電圧200ボルトの場合

(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。また、周波数は、標準周波数60ヘルツといたします。

関西、中国、四国エリア	標準周波 60 ヘルツ
-------------	-------------

(3) 契約容量

契約容量は、契約主開閉器の定格電流にもとづき、別紙2（料金メニュー表）により算定された値とします。この場合、あらかじめ契約主開閉器を設定します。ただし、他の小売電気事業者から当社へ契約を切り替える場合は、原則として、他の小売電気事業者との契約終了時点の契約容量の値を引き継ぐものとします。

(a) 供給電気方式および供給電圧が交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合

契約主開閉器の定格電流（アンペア）×電圧（ボルト）×1/1,000

なお、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合の電圧は、200 ボルトとします。

(b) 供給電気方式および供給電圧が交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトの場合

契約主開閉器の定格電流（アンペア）×電圧（ボルト）×1.732×1/1,000

(4) 電気料金

1月の料金は、別紙2（料金メニュー表）に定める基本料金、電力量料金および本約款別紙3（再生可能エネルギー発電促進賦課金）4.によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。ただし、電力量料金は、本約款別紙4（燃料費調整）1.(1)によって算定された平均燃料価格がX円を下回る場合は、本約款別紙4（燃料費調整）3.によって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、本約款別紙4（燃料費調整）1.(1)によって算定された平均燃料価格がX円を上回る場合は、本約款別紙4（燃料費調整）3.によって算定された燃料費調整額を加えたものとします。

(a) 基本料金

基本料金は、本約款第13条（料金の算定および算定期間）に定める算定期間1月につき別紙2（料金メニュー表）とおりといたします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額といたします。

(b) 電力量料金

電力量料金は、その1月の使用電力量によって別紙2（料金メニュー表）にもとづき算定いたします。

第5条 電源構成に係る注記

1. 超TERASEL（北海道再エネB、北海道再エネC、東北再エネB、東北再エネC、東京再エネB、東京再エネC、中部再エネB、中部再エネC、北陸再エネB、北陸再エネC、関西再エネA、関西再エネB、中国再エネA、中国再エネB、四国再エネA、四国再エネB、九州再エネB、九州再エネC、）はお客様の電気使用量の全量について、非化石証書などの環境価値を購入することで、実質的に再生可能エネルギー100%として供給します。

ただし、非化石証書は、市場取引等によって購入するものであるため、十分な量を調達できない場合があります。非化石証書の購入実績は当社のホームページに掲載する方法またはその他当社が適当と判断した方法により公表します。

2. 当社の電源構成は、FIT電源、卸電力取引所、その他の電力で構成されています。当該電源の割合の計画値と実績値を、当社のホームページに掲載する方法またはその他当社が適当と判断した方法により公表します。

附 則

この料金メニュー約款の実施時期

この料金メニュー約款は、2024年4月1日より実施します。

約款改定・改訂履歴

2021年	9月1日	制定
2023年	4月1日	改定
2023年	7月1日	改定
2024年	4月1日	改定

別紙1 負荷設備の入力換算容量

1. 照明用電気機器

照明用電気機器の換算容量は、次の(1)、(2)、(3)および(4)によります。

(1) けい光灯

	換 算 容 量	
	入力 (ボルトアンペア)	入力 (ワット)
高力率型	管灯の定格消費電力 (ワット) ×150パーセント	管灯の定格消費電力 (ワット)) ×125パーセント
低力率型	管灯の定格消費電力 (ワット) ×200パーセント	

(2) ネオン管灯

2次電圧 (ボルト)	換 算 容 量		
	入力 (ボルトアンペア)		入力 (ワット)
	高力率型	低力率型	
3,000	30	80	30
6,000	60	150	60
9,000	100	220	100
12,000	140	300	140
15,000	180	350	180

(3) スリムラインランプ

管の長さ (ミリメートル)	換 算 容 量	
	入力 (ボルトアンペア)	入力 (ワット)
999 以下	40	40
1,149 以下	60	60
1,556 以下	70	70
1,759 以下	80	80
2,368 以下	100	100

(4) 水 銀 灯

出力 (ワット)	換 算 容 量		
	入力 (ボルトアンペア)		入力 (ワット)
	高力率型	低力率型	
40 以下	60	130	50
60 以下	80	170	70
80 以下	100	190	90
100 以下	150	200	130
125 以下	160	290	145
200 以下	250	400	230
250 以下	300	500	270
300 以下	350	550	325
400 以下	500	750	435
700 以下	800	1,200	735
1,000 以下	1,200	1,750	1,005

2.誘導電動機

(1) 単相誘導電動機

- a 出力が馬力表示の単相誘導電動機の換算容量 (入力 [キロワット]) は、換算率100.0パーセントを乗じたものといたします。
- b 出力がワット表示のものは、次のとおりといたします。

出力 (ワット)	換 算 容 量		
	入力 (ボルトアンペア)		入力 (ワット)
	高力率型	低力率型	
35 以下	—	160	出力 (ワット) ×133.0 パーセント
45 以下	—	180	
65 以下	—	230	
100 以下	250	350	
200 以下	400	550	
400 以下	600	850	
550 以下	900	1,200	
750 以下	1,000	1,400	

(2) 3相誘導電動機

換 算 容 量 (入力 [キロワット])		
出力 (馬力)	×	93.3パーセント
出力 (キロワット)	×	125.0パーセント

3.レントゲン装置

レントゲン装置の換算容量は、次によります。

なお、レントゲン装置が2以上の装置種別を兼ねる場合は、いずれか大きい換算容量といたします。

装置種別（携帯型および移動型を含みます。）	最高定格管電圧 (キロボルトピーク)	管電流 (短時間定格電流) (ミリアンペア)	換算容量（入力） (キロボルトアンペア)
治療用装置			定格1次最大入力 (キロボルトアンペア) の値といたします。
診察用装置	95キロボルトピーク以下	20ミリアンペア以下	1
		20ミリアンペア超過 30ミリアンペア以下	1.5
		30ミリアンペア超過 50ミリアンペア以下	2
		50ミリアンペア超過 100ミリアンペア以下	3
		100ミリアンペア超過 200ミリアンペア以下	4
		200ミリアンペア超過 300ミリアンペア以下	5
		300ミリアンペア超過 500ミリアンペア以下	7.5
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	10
	95キロボルトピーク超過 100キロボルトピーク以下	200ミリアンペア以下	5
		200ミリアンペア超過 300ミリアンペア以下	6
		300ミリアンペア超過 500ミリアンペア以下	8
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	13.5
	100キロボルトピーク超過 125キロボルトピーク以下	500ミリアンペア以下	9.5
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	16
	125キロボルトピーク超過 150キロボルトピーク以下	500ミリアンペア以下	11
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	19.5
蓄電器放電式 診察用装置	コンデンサ容量	0.75 マイクロファラッド以下	1
	0.75 マイクロファラッド超過	1.5 マイクロファラッド以下	2
	15 マイクロファラッド超過	3 マイクロファラッド以下	3

4.電気溶接機

電気溶接機の換算容量は、次の算式によって算定された値といたします。

- (1)日本工業規格に適合した機器（コンデンサ内蔵型を除きます）の場合
入力（キロワット）≒最大定格1次入力（キロボルトアンペア）
×70パーセント
- (2)(1)以外の場合
入力（キロワット）≒実測した1次入力（キロボルトアンペア）
×70パーセント

5.その他

- (1)1.2.3.および4.によることが不相当と認められる電気機器の換算容量（入力）は、実測した値を基準としてお客さまと当社との協議によって定めます。ただし、特別の事情がある場合は、定格消費電力を換算容量（入力）とすることがあります。
- (2)動力と一体をなし、かつ、動力を使用するために直接必要であって欠くことができない表示灯は、動力とあわせて1契約負荷設備として契約負荷設備の容量（入力）を算定いたします。
- (3)予備設備であることが明らかな電気機器については、契約負荷設備の容量の算定の対象といたしません。

別紙2 料金メニュー表

1.北海道エリア

(1) 超TERASEL 北海道再エネB / 北海道再エネC

区分		超 TERASEL 北海道再エネ B	超 TERASEL 北海道再エネ C
基本料金	契約電流 20A	805.20 円	
	契約電流 30A	1,207.80 円	
	契約電流 40A	1,610.40 円	
	契約電流 50A	2,013.00 円	
	契約電流 60A	2,415.60 円	
	契約容量 1kVA につき		402.60 円
電力量料金 (1kWh につき)	最初の 120kWh まで	36.85 円	36.85 円
	120kWh をこえ 280kWh まで	40.82 円	40.82 円
	280kWh 超過	43.51 円	43.51 円
最低月額料金		417.19 円	

2.東北エリア

(1) 超TERASEL 東北再エネB / 東北再エネC

区分		超 TERASEL 東北再エネ B	超 TERASEL 東北再エネ C
基本料金	契約電流 20A	739.20 円	
	契約電流 30A	1,108.80 円	
	契約電流 40A	1,478.40 円	
	契約電流 50A	1,848.00 円	
	契約電流 60A	2,217.60 円	
	契約容量 1kVA につき		369.60 円
電力量料金 (1kWh につき)	最初の 120kWh まで	31.01 円	31.01 円
	120kWh をこえ 300kWh まで	36.86 円	36.86 円
	300kWh 超過	38.53 円	38.53 円
最低月額料金		359.58 円	

3.東京エリア

(1) 超TERASEL 東京再エネ B / 東京再エネ C

区分		超 TERASEL 東京再エネ B	超 TERASEL 東京再エネ C
基本料金	契約電流 20A	623.50 円	
	契約電流 30A	935.25 円	
	契約電流 40A	1,247.00 円	
	契約電流 50A	1,558.75 円	
	契約電流 60A	1,870.50 円	
	契約容量 1kVA につき		311.75 円
電力量料金 (1kWh につき)	最初の 120kWh まで	31.30 円	31.30 円
	120kWh をこえ 300kWh まで	35.76 円	35.76 円
	300kWh 超過	37.14 円	37.14 円
最低月額料金		328.08 円	

4.中部エリア

(1) 超TERASEL 中部再エネ B / 中部再エネ C

区分		超 TERASEL 中部再エネ B	超 TERASEL 中部再エネ C
基本料金	契約電流 20A	642.28 円	
	契約電流 30A	963.42 円	
	契約電流 40A	1,284.56 円	
	契約電流 50A	1,605.70 円	
	契約電流 60A	1,926.84 円	
	契約容量 1kVA につき		321.14 円
電力量料金 (1kWh につき)	最初の 120kWh まで	22.51 円	22.51 円
	120kWh をこえ 300kWh まで	26.38 円	26.38 円
	300kWh 超過	27.85 円	27.85 円
最低月額料金		277.09 円	

5.北陸エリア

(1) 超TERASEL 北陸再エネ B / 北陸再エネ C

区分		超 TERASEL 北陸再エネ B	超 TERASEL 北陸再エネ C
基本料金	契約電流 20A	605.00 円	
	契約電流 30A	907.50 円	
	契約電流 40A	1,210.00 円	
	契約電流 50A	1,512.50 円	
	契約電流 60A	1,815.00 円	
	契約容量 1kVA につき		302.50 円
電力量料金 (1kWh につき)	最初の 120kWh まで	32.16 円	32.16 円
	120kWh をこえ 300kWh まで	35.40 円	35.40 円
	300kWh 超過	35.88 円	35.88 円
最低月額料金	302.50 円		

6.関西エリア

(1) 超TERASEL 関西再エネ A / 関西再エネ B

区分		超 TERASEL 関西再エネ A	超 TERASEL 関西再エネ B
最低料金	最初の 15kWh まで一律	522.58 円	
基本料金	契約容量 1kVA につき		447.21 円
電力量料金 (1kWh につき)	15kWh をこえ 120kWh まで	21.71 円	17.68 円
	120kWh をこえ 300kWh まで	25.91 円	20.76 円
	300kWh 超過	25.29 円	22.71 円

7.中国エリア

(1) 超TERASEL 中国再エネ A / 中部再エネ B

区分		超 TERASEL 中国再エネ A	超 TERASEL 中国再エネ B
最低料金	最初の 15kWh まで一律	759.68 円	
基本料金	契約容量 1kVA につき		447.97 円
電力量料金 (1kWh につき)	15kWh をこえ 120kWh まで	34.25 円	31.40 円
	120kWh をこえ 300kWh まで	39.73 円	36.53 円
	300kWh 超過	38.10 円	37.12 円

8.四国エリア

(1) 超TERASEL 四国再エネ A / 四国再エネ B

区分		超 TERASEL 四国再エネ A	超 TERASEL 四国再エネ B
最低料金	最初の 11kWh まで一律	667.00 円	
基本料金	契約容量 1kVA につき		397.10 円
電力量料金 (1kWh につき)	11kWh をこえ 120kWh まで	32.16 円	27.40 円
	120kWh をこえ 300kWh まで	37.58 円	32.63 円
	300kWh 超過	36.80 円	34.83 円

9.九州エリア

(1) 超TERASEL 九州再エネ B / 九州再エネ C

区分		超 TERASEL 九州再エネ B	超 TERASEL 九州再エネ C
基本料金	契約電流 20A	632.48 円	
	契約電流 30A	948.72 円	
	契約電流 40A	1,264.96 円	
	契約電流 50A	1,581.20 円	
	契約電流 60A	1,897.44 円	
	契約容量 1kVA につき		316.24 円
電力量料金 (1kWh につき)	最初の 120kWh まで	19.69 円	19.69 円
	120kWh をこえ 300kWh まで	24.46 円	24.46 円
	300kWh 超過	25.88 円	25.88 円
最低月額料金	334.26 円		

電気料金メニュー約款
(TERASEL スマート九州)

取次事業者：株式会社エネクスライフサービス
小売電気事業者：九州電力株式会社



株式会社エネクスライフサービス

目次

第1条	適用	1
第2条	定義	1
第3条	需給契約の単位	1
第4条	料金メニュー約款の変更	1
第5条	契約種別	1
1.	TERASEL スマート九州	1
(1)	適用条件	1
(2)	供給電気方式、供給電圧および周波数	1
(3)	最大需要容量	1
(4)	電気料金	2
第6条	契約超過金	2
附	則	3
別紙1.	負荷設備の入力換算容量	4
別紙2.	夜間蓄熱式機器	9
別紙3.	オフピーク蓄熱式電気温水器	10
別紙4.	休日	11

第1条 適用

この電気料金メニュー約款（以下「料金メニュー約款」といいます。）は、当社の電気需給約款（以下「本約款」といいます。）にもとづき、当社が九州電力株式会社が提供する電力の供給サービスを、電灯または小型機器もしくは動力をご使用のお客さまで九州電力送配電株式会社の供給エリアへ取り次ぐときの料金その他の条件を定めたものです。なお、料金メニュー約款に定める最低料金、基本料金、電力量料金、燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金、請求書発送費用は、消費税および地方消費税相当額を含みます。料金メニュー約款に定めのない事項に関しては、本約款の定めを準用いたします。

第2条 定義

以下の用語は、料金メニュー約款において、それぞれ以下の意味で使用し、その他の用語については、本約款に規定するところによります。

1. 平日昼間（夏冬）

毎年7月1日～9月30日および12月1日～翌年2月28日までの期間（翌年が閏年となる場合は、翌年2月29日までの期間）において毎日午前7時から午後9時までの時間をいいます。

2. 平日昼間（春秋）

毎年4月1日～6月30日、翌年の3月1日～3月31日および10月1日～11月30日の期間において毎日午前7時から午後9時までの時間をいいます。

3. 休日昼間（夏冬）

別紙4（休日）に定める日において毎日午前7時から午後9時までの時間をいいます。

4. 休日昼間（春秋）

別紙4（休日）に定める日において毎日午前7時から午後9時までの時間をいいます。

5. 夜間時間

毎日午前0時から午前7時までおよび午後9時から翌日の午前0時までの時間をいいます。

第3条 需給契約の単位

当社は、次の場合を除き、1需要場所について1契約種別を適用して、1需給契約を結びます。

- (1) 電灯または小型機器と動力とをあわせて使用する需要で、従量電灯のうちの1契約種別と低圧電力とをあわせて契約する場合

第4条 料金メニュー約款の変更

1. 当社は、料金メニュー約款を変更する場合には、本約款第3条（電気需給約款の変更）を適用します。この場合、本約款第3条（電気需給約款の変更）において、「本約款」を「料金メニュー約款」と読み替えて適用します。
2. 消費税法および地方消費税法の改正等により、消費税および地方消費税の税率が変更された場合には、当社は、変更された税率にもとづき、料金メニュー約款に定める電気料金を変更いたします。この場合、契約期間中であっても、電気料金は、変更後の料金メニュー約款によります。

第5条 契約種別

1. TERASEL スマート九州

(1) 適用条件

電灯または小型機器を使用する需要で、使用する最大容量（以下「最大需要容量」といいます。）が10キロワット未満であるものに適用します。

(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。また、周波数は、標準周波数60ヘルツといたします。

(3) 最大需要容量

最大需要容量が10キロワット未満であることの決定は、負荷の実情に応じてお客さまと当社との協議によって行います。

附 則

この料金メニュー約款の実施時期

この料金メニュー約款は、2024年4月1日より実施します。

約款改定・改訂履歴

2021年 12月 1日制定
2022年 6月 1日改定
2023年 4月 1日改定
2024年 4月 1日改定

別紙 1. 負荷設備の入力換算容量

1. 照明用電気機器

照明用電気機器の換算容量は、次の(1)、(2)、(3)および(4)によります。

(1) けい光灯

	換 算 容 量	
	入力 (ボルトアンペア)	入力 (ワット)
高力率型	管灯の定格消費電力 (ワット) ×150パーセント	管灯の定格消費電力 (ワット) ×125パーセント
低力率型	管灯の定格消費電力 (ワット) ×200パーセント	

(2) ネオン管灯

2次電圧 (ボルト)	換 算 容 量		
	入力 (ボルトアンペア)		入力 (ワット)
	高力率型	低力率型	
3,000	30	80	30
6,000	60	150	60
9,000	100	220	100
12,000	140	300	140
15,000	180	350	180

(3) スリムラインランプ

管の長さ (ミリメートル)	換 算 容 量	
	入力 (ボルトアンペア)	入力 (ワット)
999以下	40	40
1,149以下	60	60
1,556以下	70	70
1,759以下	80	80
2,368以下	100	100

(4) 水 銀 灯

出力 (ワット)	換 算 容 量)		
	入力 (ボルトアンペア)		入力 (ワット)
	高力率型	低力率型	
40以下	60	130	50
60以下	80	170	70
80以下	100	190	90
100以下	150	200	130
125以下	160	290	145
200以下	250	400	230
250以下	300	500	270
300以下	350	550	325
400以下	500	750	435
700以下	800	1,200	735
1,000以下	1,200	1,750	1,005

2.誘導電動機

(1)単相誘導電動機

- a 出力が馬力表示の単相誘導電動機の換算容量（入力〔キロワット〕）は、換算率100.0パーセントを乗じたものといたします。
- b 出力がワット表示のものは、次のとおりといたします。

出力 (ワット)	換 算 容 量		
	入力 (ボルトアンペア)		入力 (ワット)
	高力率型	低力率型	
35以下	－	160	出力 (ワット) ×133.0パーセント
45以下	－	180	
65以下	－	230	
100以下	250	350	
200以下	400	550	
400以下	600	850	
550以下	900	1,200	
750以下	1,000	1,400	

(2) 3相誘導電動機

換 算 容 量 (入力〔キロワット〕)	
出力 (馬力)	× 93.3パーセント
出力 (キロワット)	× 125.0パーセント

3.レントゲン装置

レントゲン装置の換算容量は、次によります。

なお、レントゲン装置が2以上の装置種別を兼ねる場合は、いずれか大きい換算容量といたします。

装置種別（携帯型 および移動型を含 みます。）	最高定格 管電 圧	管電流 （短時間定格電流） （ミリアンペア）	換算容量（入力） （キロボルトアンペア）
治療用装置			定格1次最大入力 （キロボルトアンペア） の値といたします。
診察用装置	95キロボルトピーク 以下	20ミリアンペア以下	1
		20ミリアンペア超過 30ミリアンペア以下	1.5
		30ミリアンペア超過 50ミリアンペア以下	2
		50ミリアンペア超過 100ミリアンペア以下	3
		100ミリアンペア超過 200ミリアンペア以下	4
		200ミリアンペア超過 300ミリアンペア以下	5
		300ミリアンペア超過 500ミリアンペア以下	7.5
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	10
	95キロボルトピーク 超過 100キロボルトピーク 以下	200ミリアンペア以下	5
		200ミリアンペア超過 300ミリアンペア以下	6
		300ミリアンペア超過 500ミリアンペア以下	8
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	13.5
	100キロボルトピーク 超過 125キロボルトピーク 以下	500ミリアンペア以下	9.5
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	16
	125キロボルトピーク 超過 150キロボルトピーク 以下	500ミリアンペア以下	11
		500ミリアンペア超過 1,000ミリアンペア以下	19.5
蓄電器放電式診 察用装置	コンデンサ容量	0.75マイクロファラッド以下	1
		0.75マイクロファラッド超過 1.5 マイクロファラッド以下	2
		1.5 マイクロファラッド超過 3 マイクロファラッド以下	3

4.電気溶接機

電気溶接機の換算容量は、次の算式によって算定された値といたします。

(1)日本工業規格に適合した機器（コンデンサ内蔵型を除きます）の場合

入力（キロワット）＝最大定格1次入力（キロボルトアンペア）

×70パーセント

(2)(1)以外の場合

入力（キロワット）＝実測した1次入力（キロボルトアンペア）

×70パーセント

5.そ の 他

(1) 1. 2. 3. および4. によることが不相当と認められる電気機器の換算容量（入力）は、実測した値を基準としてお客さまと当社との協議によって定めます。ただし、特別の事情がある場合は、定格消費電力を換算容量

（入力）とすることがあります。

(2) 動力と一体をなし、かつ、動力を使用するために直接必要であって欠くことができない表示灯は、動力とあわせて1契約負荷設備として契約負荷設備の容量（入力）を算定いたします。

(3) 予備設備であることが明らかな電気機器については、契約負荷設備の容量の算定の対象といたしません。

別紙 2. 夜間蓄熱式機器

夜間蓄熱式機器とは、次のいずれにも該当する貯湯式電気温水器および蓄熱式電気暖房器等の機器をいいます。

- (1) 主として夜間時間に通電する機能を有すること。
- (2) (1)の通電時間中に蓄熱のために使用されること。

別紙3. オフピーク蓄熱式電気温水器

オフピーク蓄熱式電気温水器とは、ヒートポンプを利用して主として電力需要の少ない時間帯に蓄熱し、お客さまが給湯に使用するためまたは給湯とあわせて床暖房等に使用するために必要とされる湯温および湯量に沸きあげる機能を有するものであって、夜間蓄熱式機器に該当しない貯湯式電気温水器および給湯機能と床暖房等の機能とをあわせて有する貯湯式電気温水器等の機器をいいます。

別紙4. 休日

本約款において、休日とは、次の日をいいます。(1) 土曜日および日曜日 (2) 国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日および休日 (3) 1月2日, 1月3日, 4月30日, 5月1日, 5月2日, 12月30日および12月31日